



平成24年度（第3回）  
福岡市総合図書館運営審議会

平成25年度事業計画について

★平成25年度 重点的に取り組む事業

◆ 総合図書館新ビジョン策定

市民の利用ニーズや資料形態の多様化、IT技術の進歩等総合的視点から将来的な図書館運営の方向性を策定する。

総合図書館新ビジョン策定

674 千円

<事業概要>

新ビジョン策定にあたり、「福岡市総合図書館運営審議会」に諮問し、運営審議会の意見を踏まえて、策定作業を進める。

福岡市総合図書館運営審議会 予定

予 定 日	会 議 名	内 容
平成25年 5月中旬	第1回 運営審議会	・平成24年度事業報告について ・総合図書館運営審議会への諮問について
平成25年 9月下旬	第2回 運営審議会	・「これからの図書館のあり方について」 新ビジョンの具体的施策について協議
平成25年 12月中旬	第3回 運営審議会	・「これからの図書館のあり方について」 新ビジョン策定(案)協議
平成26年 1月下旬	第4回 運営審議会	・「これからの図書館のあり方について」 新ビジョン答申
平成26年 3月下旬	第5回 運営審議会	・平成25年度事業計画について ・平成26年度予算及び機構について
平成26年 5月		・パブリックコメント実施
平成26年 9月		・9月議会へ報告

◆ 香椎副都心公共施設内図書館分館整備

図書館において、市民の多様化、高度化する学習活動に必要な資料・情報を収集し提供するとともに、香椎副都心公共施設内に設置する図書館分館の基本・実施設計を引き続き行う。

図書館分館整備

10,419 千円

<事業概要>

香椎副都心公共施設の整備にあわせ、平成25年度は基本・実施設計を引き続き行う。

また、新しい分館の運営について、行財政改革プランに基づいて指定管理者制度の導入検討を行う。

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
整備スケジュール		基本構想策定	発注準備 基本設計・実施設計	発注準備 建設工事	用地費償還 用地費償還	用地費償還 開業準備 供用開始

## I 管理運営部門

### (1) 管理システム更新 自動返却装置の導入

事業名	内容・目的	目標
自動返却導入事業	総合2台、各分館1台の自動返却装置を導入。利用形態の自動化・自己管理化を進め、自動化になることで自動貸出機の稼働率も高め、図書館員のルーチンワークを減らし、より専門的なサービスを展開できる環境を作る。	全返却数の7割を自動化の目標とする。 延長希望・付録CDなどは例外

### (2) 研修事業

事業名	内容・目的	目標
製本・修理研修	専門性が問われながら研修の機会が少ない修理技術を共有し図書の寿命を延ばすことでサービスの向上を図る	9月末 20名×2回
接遇研修	各館の窓口での接遇をより向上させるため、基本的な発声、表情、身のこなしを身に着けて、仕事に自信を持たせるとともに利用者への好感度をアップさせる。	年2回 委託・派遣も含め全員参加 実演訓練

### (3) HP改定事業

事業名	内容・目的	目標
管理運営クラウド化	ホームページサーバをクラウド化することで危機管理を作成会社に任せるとともに、必要な領域に応じた料金での拡張性を確保する。	上半期中
第2期改定	文学文書部門の情報を充実する。また、メールによるレファレンス受付を開始する	上半期中に実施

### (4) 香椎副都心図書館設計

事業名	内容・目的	目標
東図書館移設	735㎡の空間について詳細設計段階に入る。色、材質、設備面も含めて副都心に立地する図書館として居心地の良い設計を目指す。	28年度の開館

駐車場有料化

事業名	内容・目的	目標
駐車場有料化	147台の駐車スペースを管理面に配慮しながら90分程度の無料時間帯を敷くとともに、周辺の駐車場料金を勘案した有料化を図る。	25年度中に方向性の決定

(5) 災害予防対策事業

事業名	内容・目的	目標
災害時避難訓練	火事・地震を想定した避難誘導訓練と消火器、消火栓の実地訓練を行う。また、防火シャッターの動作確認を行う。	上半期中
人命救助訓練	消防局の協力によるAEDの操作訓練。分館職員も含めて計画的に行う。	認定証公布年間50名

(6) 見学・視察受け入れ事業

事業名	内容・目的	目標
見学・視察受け入れ	小学校、中学校、高校、各種学校ほか他の自治体、図書館関連機関等からの受け入れ要請に対しスケジュール調整、受け入れ準備、受け入れを行う。	すべての要請にこたえる

(7) 図書館ツアー実施事業

事業名	内容・目的	目標
バックヤードツアー	見学視察が比較的少なくなる11月から翌年3月にかけて、一般および親子を対象とする図書館の裏側を紹介するツアーを実施する。	各回15名×10回 150名の参加

(8) 無線LAN導入計画

事業名	内容・目的	目標
無線LAN導入	図書館の独自導入システムとして1階エントランス部分、2階の一部閲覧席およびパソコンルームで無線LANが使える空間を創出するために必要な資金計画を立て予算要求する。	上半期中 25年度予算内での実施の可能性も検討

(9) ボランティア受入

事業名	目的・内容	目標
ボランティア受入事業	生涯学習の観点から市民に自己開発・自己実現の場を提供するため、図書館活動に協力できる市民ボランティアを受け入れる。分館での受入も拡大する。	継続60名 新規40名 新たな分館受入3館6名
ボランティア特別研修	<ul style="list-style-type: none"><li>・自動貸出誘導ボランティア研修</li><li>・検索予約利用促進ボランティア</li></ul>	各研修を2回

## II 図書資料部門

### 1 基本方針

図書資料部門は、生涯学習推進の中核施設として、学習・情報・文化の多様な市民ニーズに的確に応え、市民生活に密着した情報提供を行うとともに、

- (1) 本市の図書館システム全体を統括するセンター機能
- (2) 幅広い豊富な資料を備える、高度で多様なレファレンスの中核機能
- (3) 特にアジアを中心とした国際資料・情報の収集・提供を図る国際資料センター機能

を有する福岡市の中央図書館としてその整備充実を図る。

### 2 事業概要

#### (1) 図書資料の収集・整理・保存

総合図書館は各分館との緊密なネットワークを構成し、図書、逐次刊行物、新聞の収集について、一層の充実に努め、本館での基本資料の一元的保存を行う。

#### (2) 主題別制によるレファレンスの充実

利用者から寄せられる質問・相談に対し、一般参考、人文科学、社会科学、自然科学、郷土、国際、国連などの主題別部門コレクションを基盤とし、オンラインデータベース等の電子情報を活用してレファレンスサービスの充実を図る。

また、ビジネスに関連して図書館を利用するケースに対しては、引き続きレファレンスとして情報提示、各業種団体から寄贈を受けた業界誌の配架、各種国家資格取得のための教科書を集めたコーナーの充実による就業支援などを行っていく。

#### (3) 団体貸出

地域文庫をはじめとする地域団体、留守家庭子ども会や学校・PTA等の登録団体に対し、図書館車や配本車による図書資料の団体貸出を行い、子ども達をはじめ広く市民の読書活動への支援を行う。

#### (4) 各種図書館間協力ネットワークの構築

県内公共図書館、国立国会図書館、大学図書館、専門図書館との相互協力ネットワークの推進を図る。

事業名	内容	実施時期
国立国会図書館総合目録ネットワーク参加	公共図書館の資料の共有化、書誌サービスの標準化と効率化を図るため同ネットワークに参加し、当館書誌データの提供と、国立国会図書館及び参加図書館の書誌データ検索を実施している。	平成11年度から継続

大学図書館とのネットワーク	大学図書館の資料を市民が利用できるように、平成13年3月から相互貸借を開始し、現在は9大学13図書館と実施している。	平成12年度から継続
福岡都市圏図書館等の広域利用	日常生活圏の広域化にあわせ、福岡都市圏の図書館等は、図書の貸出対象の居住者要件を、当該市町村居住者から福岡都市圏全体の居住者に拡大している。	平成13年度から継続
福岡県図書館協会の相互貸借	相互貸借の円滑化により図書館サービスの充実を図るため、福岡県内の公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館の4団体間で、相互貸借を実施している。	平成18年度から継続

(5) 読書普及活動

文庫活動ボランティア講座や講演会等を行う。

事業名	内 容	実施時期
文庫活動ボランティア講座 (初心者コース) (経験者コース)	地域における子どもの読書活動を推進するためのボランティアの資質向上をはかることを目的として実施する。	平成25年 5月～11月
おはなし会	乳幼児から小学校低学年児童を対象として絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本への親しみと読書の楽しさを伝え、読書習慣の養成を図る。 (親子での読み聞かせ活動支援にむけ、読み聞かせの講習を実施する。)	毎週 土曜日 日曜日
赤ちゃん向けおはなし会	0～2歳児と保護者を対象として、絵本の読み聞かせやわらべうたを行い、ブックスタートをきっかけに、高まっている絵本への関心を持ち続け、更に、読み聞かせの楽しさや絵本への親しみを育むことを目的として実施する。	毎月 第2金曜日

夏休み図書館の達人講座	子ども達の読書意欲の高揚と、図書館マナー・読書マナーを身につけさせ、子ども達の読書普及を図る。	平成25年 8月
-------------	---	-------------

(6) 司書資格取得及び研修

文部科学省の委嘱を受けて大学で実施する司書講習を職員に受講させることにより、総合図書館職員の司書資格取得を推進する。

また、文部科学省主催研修や図書館地区別研修への派遣、各種会議への参加により司書職員の専門性の向上に努める。

**3 分館運営**

市民が日常生活圏の中で図書館を利用できるように、各区の市民センター及び地域交流センター内に分館を設置している。平成22年7月20日に西部図書館を開館し、分館は全部で10分館となった。

分館では、生活に密着した情報、趣味、娯楽、読み物等の一般図書、児童図書を中心に資料を収集し、館内での閲覧や貸出を行う他、おはなし会等の読書普及活動を行っている。

総合図書館と分館はコンピュータネットワークにより資料情報を共有するとともに、毎日連絡車を運行し資料の貸出や返却がどの図書館でもできるように、物流のネットワーク化を図っている。



### Ⅲ 文書資料部門

#### 1 基本方針

文書資料部門は、歴史的・文化的価値を有する本市の公文書及び行政資料、並びに郷土福岡の歴史に関する古文書及び郷土資料を収集、整理・保存し、調査研究を進め、閲覧に供する「本市の資料保存センター」としての役割を果たす。また、福岡の文学資料を収集、整理・保存、閲覧に供し、文学をとおして福岡の文化の継承と振興を図る。

#### 2 事業概要

##### (1) 公文書等

###### ① 公文書

完結後30年を経過した永年保存文書及び保存期間が満了した文書で歴史的文化的価値があるものを収集、整理、保存、閲覧に供する。また、完結後20年を経過した永年保存文書で、保管の委託が適当であるものについては、受託する。

ア 収 集 福岡市の各公文書規程に基づき行う。

イ 整理・保存 資料保存のための燻蒸処理を行い、件名整理及び閲覧制限項目のチェック完了後、検索用目録の作成とマイクロフィルム撮影を行う。

ウ 閲 覧 完結後30年を経過した公文書を、文書資料室において原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。資料の館外貸出は本市職員に限り許可する。

事業名	内 容	実施時期
公文書資料目録25年度版(DVD)の作成	平成24年度までに収集・整理した公文書資料の簿冊及び件名目録を検索用として作成するとともに、エクセルデータにてホームページに掲載する。	平成26年3月

###### ② 行政資料

主に本市各部局が発行する刊行物等を収集、整理・保存し、文書資料室に配架して閲覧に供する。

##### (2) 古文書

古代、中世、近世及び近現代の郷土福岡に関する歴史資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

① 収 集 購入、寄贈等による。

② 整理・保存 燻蒸処理し、収集資料群毎の詳細調査・整理及び資料の補修等を行い、マイクロフィルム撮影をして、検索用目録を作成する。

③ 閲 覧 原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。

事業名	内 容	実施時期
古文書学講座	古代・中世・近世・近代の古文書学の基礎を学ぶ講座	平成25年9月
古文書資料目録19の発行	平成25年度までに収集した古文書資料の検索用目録を作成する。	平成26年3月

(3) 郷土資料

近世までは筑前国、近代以降は福岡市を中心とする福岡県内の各分野の資料、及び山口・九州各県の地方史誌等を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

① 収 集 購入、寄贈等による。

② 整理・保存 図書等の収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行い、主に明治期以前の資料については順次マイクロフィルム撮影をして、閲覧用の複製本を作成する。

③ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。

貴重資料については、原則としてマイクロフィルムと複製本により閲覧に供する。

事業名	内 容	実施時期
郷土・特別資料室内展示	郷土福岡に関する展示を実施	平成25年4月～ 平成26年3月

(4) 文学資料

福岡ゆかりの作家等に関する文学資料の収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、実行委員会による文学振興事業等を実施する。

① 資料

ア 収 集 購入、寄贈等による。

イ 整理・保存 図書等の収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。

ウ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。

（貴重資料は、原則閲覧に供していない。）

② 福岡市文学館の運営

福岡市総合図書館と福岡市赤煉瓦文化館を活用した「福岡市文学館」において、企画展・文学講座等の事業を実施し、市民の文学に関する生涯学習活動を支援する。

事業名	内 容	実施時期
常設展示	福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動を紹介する。 総合図書館1階ギャラリー	通 年 (企画展期間中を除く)
企画展	赤煉瓦文化館1階展示室 特に企画展では、文学振興事業実行委員会において、企画展図録を作成し、販売している。	11月～12月頃 (年1回)
赤煉瓦夜話	福岡ゆかりの文学者等による卓話会、講演等	隔月 第3木曜日 (11月～12月を除く)
文学館倶楽部	福岡市文学館館報として発行（無料配付）	年2回 (10月、3月)

- (5) レファレンス業務  
郷土・特別資料室及び文書資料室（総合図書館2階）において、各資料に関するレファレンスを行う。
- (6) 委員会等
- ① 福岡市総合図書館文書資料収集審査委員会  
所管する文書資料収集の適正化を図るため、7名の委員により本年度1回開催予定。
  - ② 福岡市文学館資料委員会  
福岡市文学館資料の充実と有効活用を図るため、8名の委員により本年度2回開催予定。
  - ③ 福岡市文学振興事業実行委員会  
文学振興事業の企画と円滑な実施運営を図るため、8名の委員により本年度3回開催予定。

## IV 映像資料部門

### 1 基本方針

映像資料部門は、映画フィルム等を後世に継承し、また、映像文化の普及・振興及び市民のアジア理解が深まることを目的に、

- (1) アジア各国及び日本で製作された優れた映画作品のフィルムを収集するとともに、貴重な映像文化財として長期保存すべくフィルムアーカイヴを運営する。
- (2) 収集したフィルムその他の映像資料は、映像ホール・シネラやミニシアターほかで上映・公開し、市民の映画への関心を向上させるとともに、アジア各国の歴史、文化などの理解を深め、また教養や知識を高めることを期す。
- (3) 映像作品を制作し、又はアジア映画の自主上映等を行う市民・団体に対して、映像ホール・シネラの利用などの支援を行う。
- (4) アジア映画に関する情報収集、調査研究を行い、このため、国内外の映画関係者との交流を行う。
- (5) 収集した映像資料の中のビデオ、DVD、CD等は、市民に貸出を行う。

### 2 事業概要

#### (1) 映像資料の収集・整理・保存

事業名	内容	実施時期
映像資料収集事業	(1) アジアフォーカス福岡国際映画祭参加作品 (2) 福岡に関する映画作品 (3) ビデオ、DVD (4) CD	通年

#### (2) 映像資料の調査・研究

東京国立近代美術館フィルムセンターをはじめとする国内外の機関・施設と連携し、映画フィルムの修復、保存等について調査・研究を行う。

#### (3) 映像資料の公開及び展示等

- ① 映像ホール・シネラ(246席)の運営
- ② ミニシアター(50席)の運営

#### (4) ビデオライブラリーの運営等

映像資料(ビデオテープ・DVD)と音声資料(CD・カセットブック)の館外貸出を行う。

#### (5) 映像ホール・シネラの運営等

映像ホール・シネラの運営等については、総合図書館と映像ホール・シネラ実行委員会が共催で行う。

#### (6) 委員会等

##### ① 福岡市総合図書館映像資料収集委員会

映像資料の収集・保存に関し、収集に必要な事項を審議するため、8名の委員により本年度1回開催予定。

##### ② 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会

福岡市総合図書館映像ホール・シネラでの上映会等を開催し、その運営を円滑に行い、福岡市における映像文化の普及・振興を図るため、8名の委員により本年度2回開催予定。

(6) 主な上映事業（計画案）

事業名	内容	実施時期
ドキュメンタリー・セレクション	近年注目を浴びたドキュメンタリー映画の秀作を、アジアの作品を中心にセレクト。	平成 25 年 12 月
シネマテーク事業	<p>日頃福岡で上映されない映画を積極的に取り上げ、上映活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木下恵介監督特集 木下恵介監督生誕 100 年記念上映。 監督デビュー作など初期作品を中心に、これまで上映機会の少なかった作品を上映。</li> <li>○ 木村栄文レトロスペクティブ 日本を代表するテレビドキュメンタリー作家として活躍し、2011 年に亡くなった木村栄文の作品を RKB との共催で上映。</li> <li>○ 日活映画の 100 年 第 1 部第 2 部 創立 100 年を迎えた日活の代表作を 2 部にかけて特集。</li> <li>○ 新藤兼人監督特集 昨年亡くなった日本映画の巨匠・新藤兼人監督の追悼企画。</li> </ul>	平成 25 年 5 月 ほか
映画講演	映画に関する講演を開催すると同時に映画を上映し、映画への理解を深める。	平成 25 年 6 月 ほか
イメージフォーラム・フェスティバル 2013	日本最大の実験映画のコンペティションであるイメージフォーラム・フェスティバルから、一般公募作品と内外の映像作家の新作等により実験映画の最先端を紹介する。	平成 25 年 6 月
ぴあフィルムフェスティバル in 福岡	日本最大の自主製作映画の祭典。昨年 9 月に東京で開催された映画祭から入選作を上映。	平成 25 年 4 月

## V 広報活動

総合図書館を広く市民に利用してもらうため、各種媒体による広報を行う。

媒体名	目的と内容	発行回	配布先／発行数
市政だより	図書館事業の市民への告知を目的とし、シネラ上映案内、おはなし会・講演会などを掲載している。	月2回	福岡市内全世帯
総合図書館ホームページ	情報提供を目的とし、利用案内、各種お知らせ、映像資料案内、図書館資料検索などの項目を設けている。	月1回更新	
ホームページ「うえぶシネラ」	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載している。また、メールマガジンも配信している。	月1回更新	
シネラNEWS	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載している。	年11回	福岡市の施設・機関、マスコミ、定期購読者等／8000部
こどもとしょかんニュース	こども図書館の利用拡大、読書普及を目的とし、おはなし会やテーマ別本展示のお知らせ、新刊本紹介を掲載している。	年6回	福岡市の関係施設・機関、市内の保育所、幼稚園、小中学校等／2500部
こどもとしょかんのほんだな	市内の小学生を対象として、図書館の利用拡大を目的とし、小学校向けのお薦め本のリストなどを掲載している。	年4回	福岡市内の小中学校等／1050部
レファレンスだより	レファレンスサービスをアピールすることを目的とし、相談カウンターに寄せられたレファレンスの中から、事例を主題別部門毎に紹介している。 また、夏休みは小中高生を対象にした特集号を発行している	年12回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／500部
図書の展示	テーマに基づき各コーナーで図書の展示を行うとともに、ホームページに掲載し図書の紹介を実施している。	毎月	
クンドルニュース	九州国連寄託図書館の活動案内、国連資料の利用者拡大を目的とし、国連資料などを紹介している。	年6回	福岡市の施設・機関、福岡県内公共図書館等／700部
図書館要覧	他図書館、行政機関への当館の運営報告を目的とし、図書館各部門の現状・サービス、事業実績、組織・予算、分館の状況などを掲載している。	年1回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／200部

## VI 研究活動

図書館において調査・研究を行い、その成果を報告するため、研究紀要を発行する。

媒体名	目的と内容	発行回	配布先／発行数
研究紀要	収蔵資料に関する学術的な調査・研究の成果を報告することを目的に、図書館職員による研究論文、資料紹介、展示報告等を掲載する。 第12号まで刊行済み	年1回	各県の主な公共図書館、文学館、文書館、歴史資料館等／500部

### ◆ 図書館駐車場の有料化

行財政改革プランにおいて、行政サービスの見直しの一環として、総合図書館の駐車場を受益と負担の観点から有料化について検討するもの。

**図書館駐車場整備** 25,075 千円

#### <事業概要>

駐車場の有料化に向けて、駐車場の整備を行う。

※ 現在駐車場台数は143台

- 1 駐車場改良工事 11,649千円
- 2 植栽撤去工事 4,496千円
- 3 駐車場機器設置工事 8,930千円

### ◆ 図書館管理システムの更新

平成25年度から図書館管理システムを新しく更新するに伴い、図書館サービスの向上を図る。

**図書館管理システムの更新** 15,551 千円

#### <事業概要>

平成25年4月より、新システムを更新し、サーバや端末等の処理速度を上げ、携帯電話からの蔵書検索・予約機能を付加し、利用者の利便性向上を図る。

また、窓口の混雑解消のため、総合図書館、各分館に自動返却機を設置する。

### ◆ 全国図書館大会の開催

全国図書館大会は、各県の持回りで開催している。平成25年開催の第99回全国図書館大会が福岡県の開催となった。

**第99回全国図書館大会の開催地経費** 500 千円

#### <事業概要>

第99回全国図書館大会福岡大会は、福岡県が当番県として開催するものであるが、開催地が福岡市で開催されることから、開催経費の負担や運営支援を行うもの。

大会テーマ	「あなたの未来をひらく図書館」
期 日	平成25年11月21日(木)・22日(金)
全体会場	アクロス福岡シンフォニーホール
分科会会場	アクロス福岡・電気ホール



平成25年度予算及び機構について

議題2

1 平成25年度予算

事 項		金 額(千円)		
		25年度	24年度	増減
1 給与費等		323,263	315,619	7,644
2 管理運営費		756,574	730,434	26,140
	一般管理費	147,050	96,133	50,917
	施設管理費	254,915	254,411	504
	分館運営経費	329,284	328,228	1,056
	業務システム更新	15,551	43,662	△ 28,111
	映像機器の更新	8,600	8,000	600
	総合図書館新ビジョン策定経費	674	0	674
	全国図書館大会開催地経費	500	0	500
	施設整備公社委託料(事務費分)	0	0	0
3 主催事業費		2,998	3,014	△ 16
	映像企画事業等	1,523	1,523	0
	講座等経費	1,475	1,491	△ 16
4 資料収集等経費		200,643	227,573	△ 26,930
	図書・文書資料購入費	94,969	97,856	△ 2,887
	映像資料購入費	3,765	3,954	△ 189
	図書整理費	35,215	36,303	△ 1,088
	文書資料整理等経費	34,203	34,464	△ 261
	収集保存等経費	11,911	12,018	△ 107
	行政資料整理等業務 (緊急雇用)	0	3,143	△ 3,143
	図書資料整理業務 (緊急雇用)	20,580	25,580	△ 5,000
	郷土資料等マイクロフィルム及びデジタルデータ他作成業務(緊急雇用)	0	14,255	△ 14,255
5 図書利用サービス費		163,103	162,933	170
	一般利用サービス費	160,095	159,858	237
	団体貸出運営費	2,517	2,570	△ 53
	こども図書館運営費	491	505	△ 14
6 国連寄託図書館経費		9,338	9,304	34
7 文学館費		14,501	13,697	804
	文学館事業費	2,934	2,019	915
	文学館管理運営費	11,567	11,678	△ 111
8 施設整備費		109,041	9,649	99,392
	図書館分館整備事業	10,419	5,772	4,647
	施設整備費	98,622	3,877	94,745
合 計		1,579,461	1,472,223	107,238